（様式５－１）

令和　　　年　　　月　　　日

（宛先）新潟市長

企画提案書

新潟市ひきこもり相談支援センター事業運営の委託に係る公募型プロポーザルについて、次のとおり企画提案書を提出します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 商号又は名称 |  | |
| 所在地 | 〒　　　－ | |
| 代表者職氏名 |  | |
| 連絡先担当者 | 部署 | ： |
| 氏名 | ： |
| 電話番号 | ： |
| FAX番号 | ： |
| E-mail | ： |

（様式５－２）

|  |
| --- |
| Ⅰ－１　事業目的の理解について |
| 不登校や失業などをキッカケとした「ひきこもり」に対する現状認識と、それに対する支援の考え方を記載してください。  また、本市において事業の目的（ひきこもり当事者及び家族の生きづらさや生活上の困難の軽減・解消、社会とのつながりの回復・維持のために必要な支援を行い、当事者及び家族の福祉の増進を図る）を達成するために、どのような段階を踏んで実施するのか記載してください。 |

（様式５－３）

|  |
| --- |
| Ⅰ－２－ア　相談支援について |
| ひきこもり当事者及び家族等からの相談について、支援の方法や支援する際に重視するポイントを記載してください。  また、受付からの支援の流れを具体的に記載してください。  また、普段からの職員間での情報共有の方法、困難事例があった場合や緊急時の対応について、職員間で統一した対応がとれるような仕組みを記載してください。 |

（様式５－４）

|  |
| --- |
| Ⅰ－２－イ　相談支援（オンライン等の活用）について |
| 対面での相談が難しいひきこもり当事者に対する支援について、どのような支援が可能か記載してください。  オンライン等を活用した相談事業について、支援の方法と支援する際に重視するポイントについて具体的に記載してください。  また、受付からの支援の流れを具体的に記載してください。 |

（様式５－５）

|  |
| --- |
| Ⅰ－２－ウ　相談支援（訪問支援）について |
| ひきこもり当事者及び家族等への訪問支援（アウトリーチ）について、支援する際に重視するポイントを記載してください。  また、ひきこもり相談支援センターにおける車両の確保や駐車場の手配についての考え、受付からの支援の流れ（アセスメント方法、訪問支援の方法）を具体的に記載してください。 |

（様式５－６）

|  |
| --- |
| Ⅰ－３－ア　当事者の参加（社会参加）について |
| ひきこもり当事者が自発的に行動するキッカケとしての社会参加に向けた取り組み（ボランティア活動や職場体験活動等の活動ができる機会を提供すること）について、具体的な支援方法と、重視するポイントを記載してください。  また、当事者に対し、どのような活動内容を選択肢として提供することができ、その活動を通して、次の支援にどうつなげるのかを具体的に記載してください。  また、実施にあたり、受付方法、支援の流れ（アセスメント方法、活動内容等）を具体的に記載してください。 |

（様式５－７）

|  |
| --- |
| Ⅰ－３－イ　当事者の参加（居場所の運営）について |
| ひきこもり当事者の参加する居場所について、具体的な実施方法と、重視するポイントや運営にあたり工夫できる点を記載してください。  また、受付方法、支援の流れ（アセスメント方法、活動内容等）を具体的に記載してください。 |

（様式５－８）

|  |
| --- |
| Ⅰ－４－ア　当事者会・家族会、ピアサポーター等（当事者会・家族会の運営）について |
| ひきこもり当事者同士、家族同士が集まって経験や悩みを共有し、情報交換などを行う当事者会・家族会の活動について、具体的な支援方法と、重視するポイントを記載してください。  また、ひきこもり状態を経験したピアサポーターの活用について、当事者会・家族会への協力において、どのような工夫ができるかを記載してください。 |

（様式５－９）

|  |
| --- |
| Ⅰ－４－イ　当事者会・家族会、ピアサポーター等（ピアサポーター等の活用・育成）について |
| ひきこもり当事者が抱えていた思いや経験を発信する活動や、ひきこもり相談支援センター事業を補助することなどを想定したピアサポーターの活用について、また、ひきこもり支援に関心のある者をサポーターとして育成し、活用することについて、実現の可能性及び実施できる場合に重視するポイントや具体的な実施方法を記載してください。 |

（様式５－１０）

|  |
| --- |
| Ⅰ－５－ア　支援機関との連携・後方支援（支援機関との連携及びつなぎ）について |
| ひきこもり状態にある方を早期支援につなげるための支援機関との連携方法、就学や就労等において社会資源を活用し、適切な支援機関につなぐ場合の具体的な方法やその際に重視するポイントを記載してください。  また、実施にあたり、支援の流れ（支援機関とのネットワーク構築、アセスメント方法、事例検討会等での効果的な連携及び支援を次の段階へ移行する場合の支援機関への引継ぎ方法等）を具体的に記載してください。 |

（様式５－１１）

|  |
| --- |
| Ⅰ－５－イ　支援機関との連携・後方支援（支援機関に対する後方支援）について |
| 「新潟市ひきこもり相談支援センター事業運営業務委託仕様書」の３ページ「３　事業内容」、「(１２)　新潟市内各区への後方支援事業」に記載のように、区役所や社会福祉協議会、ＮＰＯ等が各区で独自に実施しているひきこもり支援活動に対し、後方支援や技術援助を実施するにあたり、具体的な方法と重視するポイントを記載してください。 |

（様式５－１２）

|  |
| --- |
| Ⅰ－６　普及・啓発／教育・研修について |
| ひきこもりへの偏見や差別的対応をなくし、ひきこもりへの理解が進むよう、地域住民に対する普及・啓発及び関係機関職員に対する教育・研修を実施する上で、どのような工夫ができるか、重視するポイントも含めて具体的に記載してください。  また、研修を実施するとした場合の年間スケジュール、想定する対象者、研修の目的、研修の内容と期待される事業効果について、記載してください。 |

（様式５－１３）

|  |
| --- |
| Ⅱ－１　相談内容の記録・整理・集計・報告書等について |
| 相談内容の記録・整理・集計や報告書の作成について、効率的かつ分かりやすくまとめ、対外的に説明しやすくするために、資料作成において重視するポイントを具体的に記載してください。 |

（様式５－１４）

|  |
| --- |
| Ⅱ－２　人材育成、マニュアルの作成について |
| ひきこもり相談支援センター事業に従事する職員のレベルアップにつなげるための職員研修の実施や資格取得等各種制度や社会資源等の情報、国の施策等の共有方法について、重視するポイントを記載してください。  また、情報セキュリティ、守秘義務、個人情報保護の考え方について、個人情報の管理方法や各種業務マニュアルの作成、またそれらの職員研修をどのように実施するのか、具体的に記載してください。 |